

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高3 特進	地歴	世界史特講	新世界史 (山川出版社)	最新世界史図説 タペストリー (帝国書院)

1. 授業の目標

- 1 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。そして、世界の中の日本の在り方も考えられるようにする。
- 2 文化の多様性や歴史的事象の意義などを多面的・多角的に考察する力を養い、また、それらを表現する能力を養う。
- 3 歴史的思考力を養い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付ける。
- 4 基礎学力到達度テストや各私立大学の入試問題で、合格点を得点できる力を身に付ける。

2. 授業のすすめ方

- 1 主に講義形式で行います。授業用プリント・参考資料など各種印刷物を必要に応じて配信及び配布します。授業中の重要事項は必ず書き留めるようにしてください。また、配布物はなくさないようにしてください。
- 2 各単元が終了するごとに、授業内容を理解しているかどうかを問う課題を実施する予定です。

3. 学習上の留意点

- 1 授業時には教科書・資料集を必ず持参してください。
- 2 世界史は文系の選択科目です。有効な学習ツールには、教科書や参考書・問題集以外にも、様々な書籍や映画、ドキュメンタリー番組、さらには漫画などもあります。折に触れて授業で言及しますが、みなさん自身も意欲的にそれらを視聴するように心がけましょう。
- 3 歴史も科学の一つです。人物・出来事・年号などを暗記するのも重要ですが、各事象が起こった背景などを理解することでより一層理解が深まります。その点を意識して授業に臨んでください。
- 4 教科書の本文だけでなく、脚注・地図・図版・史料・写真などにも目を通しておくことが大切です。

4. 副教材・参考文献

- 1 最新世界史図説 タペストリー (帝国書院)
世界史B用語集 (各出版社より販売) も購入しておくことをお勧めします。一般受験希望者は必須です。
- 2 問題集については、各自、書店等において自分のレベル・志望校に合わせて購入することをお勧めします。また、Classi やスタディサプリを利用するのもよいでしょう。
- 3 歴史は時間と空間とに関する学問です。幅広い知識や教養を身につけることによって世界の理解を深めるためにも、国語や数学、英語など他の教科の学習もおろそかにせず、読書も幅広く行うことを強く勧めます。

5. 評価方法

- 1 定期試験…定期考査3回(100点×3) 計300点
- 2 平常点…1学期20点+2学期10点 計30点
- 3 平常点は、定期考査の点数と連動する部分と授業態度・課題等を加味して総合的に算出します。小テストや課題についてはその都度発表します。
- 4 定期考査、平常点等に基づいて「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。

6. 定期考査

- 1 定期考査の正確な範囲は、その都度発表します。
- 2 定期考査は授業内容から出題します。毎回の授業に集中してください。

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	第Ⅲ部扉 諸地域の交流・再編 第11章 ヨーロッパの成長と世界の一体化	中間考査	諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などについて理解できるようになる。
	5	第Ⅳ部扉 諸地域の結合・変容 第12章 国民国家と近代民主主義社会の形成		
	6	第13章 新国家の建設と世界市場の形成		
	7	第14章 アジア諸地域の動揺		
二 学 期	9	第16章 第一次世界大戦	期末考査	現代社会の形成過程を概観し、地域社会の特質を認識する。
	10	第17章 第二次世界大戦と諸地域の変容		
	11			
	12		期末考査	

※単元名・学習項目は教科書の目次による。シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。